

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
平成28事業年度 年度計画評価表

項目番号			年度計画	地方独立行政法人		評価委員会評価																			
大	中	小	内容	自己評価	評価	評価	評価の判断理由・評価に対するコメントなど																		
1			住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置																						
	1		<p>救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとして、脳卒中・急性心筋梗塞・多発外傷・熱傷・急性中毒等の重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入に対応する。 初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとしての役割を担う。 二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、一月あたり夜間4コマ（内科系・外科系各2コマ）、休日日中2コマ（内科系・外科系各1コマ）病院群輪番制に参加する。 <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送受入患者数</td> <td>2,500人</td> </tr> <tr> <td>救急車応需率</td> <td>78%</td> </tr> </tbody> </table>	事項	平成28年度計画	救急車搬送受入患者数	2,500人	救急車応需率	78%	<ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターとしての機能を発揮し、重篤救急患者に対して24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し広域的な患者の受入を行った。 初期救急医療については、夜間急病診療所や休日在宅当番医の後方ベッドとして患者の受入を行った。 二次救急医療については、他の病院群輪番制病院の後方ベッドとしての役割を担うとともに、病院群輪番制に参加した。 <p>〈実績数値〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入れ地域)</td> <td>2,532人 (山武郡市1,851人) (長生郡市 345人)</td> </tr> <tr> <td>救急車応需率</td> <td>75.7%</td> </tr> <tr> <td>ウォークイン受入患者数</td> <td>2,585人</td> </tr> <tr> <td>ドクターヘリ受入患者数</td> <td>41人</td> </tr> <tr> <td>病院群輪番制参加状況</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 山武郡市二次救急医療輪番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり内科系2日 外科系2日 山武郡市休日当番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり二次内科系1日 二次外科系1日 </td> </tr> </tbody> </table>	事項	平成28年度実績	救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入れ地域)	2,532人 (山武郡市1,851人) (長生郡市 345人)	救急車応需率	75.7%	ウォークイン受入患者数	2,585人	ドクターヘリ受入患者数	41人	病院群輪番制参加状況	<ul style="list-style-type: none"> 山武郡市二次救急医療輪番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり内科系2日 外科系2日 山武郡市休日当番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり二次内科系1日 二次外科系1日 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 二次輪番の後方ベッドを相当数引き受けていることから、コマ数を増やすことも検討いただきたい。 救命救急センターとして、広域的に多数の重篤救急患者等を受け入れていることは評価できる。今後も、他の医療機関との協力のもと、地域のニーズにこたえられるよう努めていただきたい。 救急車の応需率が75.7%と目標値の78%を下回っている。結果として、4人に1人を断ったことは、24時間365日体制の救命救急センターとして受入を行ったとは言い切れず、評価としては2と考える。 実績のみで判断すると計画どおりの内容であり、評価3が妥当と考える。
事項	平成28年度計画																								
救急車搬送受入患者数	2,500人																								
救急車応需率	78%																								
事項	平成28年度実績																								
救急車搬送受入患者数 (主な救急搬送受入れ地域)	2,532人 (山武郡市1,851人) (長生郡市 345人)																								
救急車応需率	75.7%																								
ウォークイン受入患者数	2,585人																								
ドクターヘリ受入患者数	41人																								
病院群輪番制参加状況	<ul style="list-style-type: none"> 山武郡市二次救急医療輪番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり内科系2日 外科系2日 山武郡市休日当番 <ul style="list-style-type: none"> 一月あたり二次内科系1日 二次外科系1日 																								

2	<p>地域の中核病院として担うべき医療</p> <p>(1) 小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療を提供する。 救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療への対応を行う。 	<p>小児医療・小児救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性疾患を中心に入院治療に対応した小児医療の提供を行った。 救命救急センターにおいて、小児科専門医と救急専門医の協力のもと小児救急医療に対応した。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="916 389 1579 612"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科外来延患者数</td> <td>8, 272人</td> </tr> <tr> <td>小児科入院延患者数</td> <td>1, 163人</td> </tr> <tr> <td>小児夜間診療患者数 (月・木)</td> <td>400人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	小児科外来延患者数	8, 272人	小児科入院延患者数	1, 163人	小児夜間診療患者数 (月・木)	400人	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 夜間は月曜日と木曜日のみで、小児救急医療への対応は十分とは言えない。目的はある程度達成していると思われるが、計画を上回っているとは評価できない。評価3と考える。 小児医療・小児救急医療に取り組んでいることは評価できるが、計画どおりであり、評価は3が妥当と考える。 小児科は大変な状況と理解している。小児医療に対する役割は大きく評価したい。 この小児科医の人数体制で、現状の件数を維持していくのはかなり困難である。 				
事 項	平成28年度実績																
小児科外来延患者数	8, 272人																
小児科入院延患者数	1, 163人																
小児夜間診療患者数 (月・木)	400人																
	<p>(2) 周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 周産期病床において、正常分娩を中心に周産期医療を行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="333 1013 853 1107"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>100件</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	分娩件数	100件	<p>周産期医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 周産期病床を15床開床し、医師7名（内常勤2名）及び助産師13名（内常勤10名）の体制により、正常分娩を中心に周産期医療を行った。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="916 1013 1579 1224"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>121件</td> </tr> <tr> <td>産婦人科外来延患者数</td> <td>2, 770人</td> </tr> <tr> <td>産婦人科入院延患者数</td> <td>1, 511人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	分娩件数	121件	産婦人科外来延患者数	2, 770人	産婦人科入院延患者数	1, 511人	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 目標100件に対して、分娩件数が121件で、目標には達しているが、医師7名・助産師13名の体制で経営的なことを考えた場合、評価4は高いと考える。 目標100件に対して121件であり、評価4は妥当。件数として少ないという意見もあるが、今後目標値を上げればよい。 周産期医療体制を整備し、目標を超える分娩を行ったことは評価できる。
事 項	平成28年度計画																
分娩件数	100件																
事 項	平成28年度実績																
分娩件数	121件																
産婦人科外来延患者数	2, 770人																
産婦人科入院延患者数	1, 511人																

					・29年度計画(360件)の達成に向け、引き続き地域医療機関との連携や広報等に努めていただきたい。																		
	(3)	<p>災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域災害拠点病院としての機能を十分に発揮し、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、医薬品、診療材料、飲料水等を配備する。 ・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行うとともにDMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加し、災害医療に対応する。 ・千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整える。 	<p>災害医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域災害拠点病院として災害発生時に備え、地域医療機関、医師会、自治体等との連絡体制を確保するとともに、医薬品、診療材料、飲料水等を配備した。 ・メディカルセンター全体を対象としたトリアージ訓練等の災害医療訓練を行った。 ・DMATを中心に災害救護を想定した各種訓練に参加した。 ・千葉大学医学部附属病院のDMATとの連絡体制を整えた。 <p><主な活動実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月25日 ～27日</td> <td>災害拠点病院等災害医療従事者研修</td> </tr> <tr> <td>8月6日</td> <td>大規模地震時医療活動訓練(政府主催総合防災訓練)</td> </tr> <tr> <td>11月26日 ～27日</td> <td>関東ブロックDMAT訓練</td> </tr> <tr> <td>11月29日</td> <td>九十九里有料道路多数傷病者事故対応連携訓練</td> </tr> <tr> <td>12月23日 ～25日</td> <td>NBC災害・テロ対策研修</td> </tr> <tr> <td>2月16日</td> <td>多機関合同連携訓練</td> </tr> <tr> <td>3月9日</td> <td>千葉県高速自動車国道等消防協議会合同訓練</td> </tr> <tr> <td>3月17日</td> <td>地震総合訓練・火災総合訓練(トリアージ訓練含む)</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	活動内容	7月25日 ～27日	災害拠点病院等災害医療従事者研修	8月6日	大規模地震時医療活動訓練(政府主催総合防災訓練)	11月26日 ～27日	関東ブロックDMAT訓練	11月29日	九十九里有料道路多数傷病者事故対応連携訓練	12月23日 ～25日	NBC災害・テロ対策研修	2月16日	多機関合同連携訓練	3月9日	千葉県高速自動車国道等消防協議会合同訓練	3月17日	地震総合訓練・火災総合訓練(トリアージ訓練含む)	3	3
実施日	活動内容																						
7月25日 ～27日	災害拠点病院等災害医療従事者研修																						
8月6日	大規模地震時医療活動訓練(政府主催総合防災訓練)																						
11月26日 ～27日	関東ブロックDMAT訓練																						
11月29日	九十九里有料道路多数傷病者事故対応連携訓練																						
12月23日 ～25日	NBC災害・テロ対策研修																						
2月16日	多機関合同連携訓練																						
3月9日	千葉県高速自動車国道等消防協議会合同訓練																						
3月17日	地震総合訓練・火災総合訓練(トリアージ訓練含む)																						

	<p>(4) 感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核については結核患者収容モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供する。 H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討する。 新型インフルエンザ等の新たな感染症が発生したときは、地域医療機関、医師会、自治体等と密接に連携しながら迅速かつ適切な対応を行う。 	<p>感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核患者モデル病床にて、結核患者に対応した医療を提供した。 H I V（ヒト免疫不全ウイルス）感染症に関する専門医の確保について検討した。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="920 347 1579 491"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核外来患者数</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>結核入院患者数</td> <td>7人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入院には外来から入院した患者も含む。</p>	事 項	平成28年度実績	結核外来患者数	7人	結核入院患者数	7人	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 評価は妥当だが、専門医の確保について検討した結果を記載すべきである。 今後、医師に資格を取得してもらい専門医にする取組も検討していただきたい。 平成27年度には、新型インフルエンザのマニュアル等を整備されているが、訓練等を行いながら、必要に応じて見直しを図っていただきたい。 										
事 項	平成28年度実績																				
結核外来患者数	7人																				
結核入院患者数	7人																				
	<p>(5) 急性期医療の効率化に必要な病棟運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度診療報酬改定に対応し急性期医療に必要な病床のより効率的な運営のため、地域包括ケア病棟を開棟する。 患者の利益をも考慮した病棟運営ができるよう、地域医療連携室の機能を有効に活用し、積極的な退院支援等の取り組みを行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="333 922 853 1082"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	紹介率	50.0%	逆紹介率	70.0%	<p>急性期医療の効率化に必要な病棟運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度診療報酬改定に対応し急性期医療に必要な病床のより効率的な運営のため、地域包括ケア病棟を開棟した。 患者の利益をも考慮した病院運営ができるよう、地域医療連携室の機能を有効に活用し、積極的な退院支援等の取り組みを行った。しかしながら、逆紹介率については、小児科等の紹介先の不足などもあり、計画値に至らなかった。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="920 922 1579 1209"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア病床数 (稼働病床数)</td> <td>42床 (30床)</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>49.6%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>41.6%</td> </tr> <tr> <td>退院支援患者数</td> <td>766人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	地域包括ケア病床数 (稼働病床数)	42床 (30床)	紹介率	49.6%	逆紹介率	41.6%	退院支援患者数	766人	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 逆紹介率が大幅に下回っており、評価は2が妥当。小児科の紹介先不足を挙げているが、理由はそれだけではないと考える。 診療科別の逆紹介率のデータなど、どの診療科が当初の計画から乖離しているのか示していただきたい。 紹介率及び逆紹介率ともに計画を下回っていることから、評価2が妥当と考える。なお、紹介率及び逆紹介率は、平成27年度の実績をも下回っており、原因を分析して、早急に改善に向けて、対策を講じていただきたい。 実績から判断すると評価2が妥当である。逆紹介率の改善が急務であり、対応策を検討していただきたい。 地域包括ケア病棟について、外部からの受入も、今後需要
事 項	平成28年度計画																				
紹介率	50.0%																				
逆紹介率	70.0%																				
事 項	平成28年度実績																				
地域包括ケア病床数 (稼働病床数)	42床 (30床)																				
紹介率	49.6%																				
逆紹介率	41.6%																				
退院支援患者数	766人																				

					も見込まれ、地域の開業医などからも喜ばれるので検討いただきたい。 ・これまでよりも紹介がしやすくなってきている状況は感じている。
3	高度専門医療				
(1)	<p>4 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応</p> <p>① がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院と連携して治療を行う。 ・がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応する。また子宮がん、乳がんについて対応する。 ・地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定を目指す。 <p>② 脳卒中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対するt-PA（血栓溶解薬）の急性期静脈内投与や血行再建術等を要する治療を行う。 ・急性期医療に専念するため、地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し回復期の患者の受入先を確保する。 <p>③ 急性心筋梗塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞については、24時間365日 	<p>4 疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応</p> <p>① がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消化器がん（食道・胃・大腸・直腸・肝・胆道・膵等）に対応し、病態に応じて、内視鏡治療、外科手術、化学療法及び緩和ケア医療を提供するとともに、放射線治療を必要とする場合は必要に応じて千葉大学医学部附属病院等と連携して治療を行った。 ・がん検診の精密検査については、上記に加え、肺がんについても対応した。また、子宮がん、乳がんについて対応した。 ・地域におけるがん診療の拠点的功能を有する病院として、地域がん診療連携協力病院の指定に向けた検討をした。 <p>② 脳卒中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中等の脳血管疾患については、24時間365日体制で迅速な診断、治療をはじめ、特に増加傾向にある脳梗塞患者に対応した。 <p>③ 急性心筋梗塞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞については、24時間365日体制で 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価2。地域がん診療連携協力病院の指定を目指すから検討をしたに後退した。②脳卒中、③心筋梗塞に対して24時間365日体制で対応していると云えるだけの根拠に乏しい。④糖尿病患者の教育入院は何件あったか示していただきたい。 ・概ね計画どおり実施されているが、t-PAが実施されていないなど、一部について計画が達成されていない。今後、これらの実施に向けた検討を行っていただきたい。

	<p>体制で冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供する。</p> <p>④ 糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病患者に対する一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行う。 ・維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応する。 ・糖尿病の教育と指導を目的とした住民を対象とした糖尿病教室を定期的に開催する。 ・糖尿病患者の自己管理を促進するために食事療養やインスリン注射の指導を目的とした教育入院を行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="331 970 853 1114"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室開催回数</td> <td>12回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	糖尿病教室開催回数	12回	<p>冠動脈カテーテル療法をはじめとする各種治療法による急性期医療を中心に提供した。</p> <p>④ 糖尿病</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病については、外来での一般的な診療を行うとともに糖尿病性腎症等の合併症を有する患者等で症状の悪化に伴い救急搬送された患者に対応した急性増悪時治療を提供するとともに、糖尿病性腎症患者に対する透析導入を行った。 ・維持透析療法が必要な患者については地域医療連携室を中心に地域医療機関と連携し受入先を確保するとともに、重篤な合併症発症時に対応した。 ・糖尿病の教育と指導を目的とした住民を対象とした糖尿病教室を定期的に開催した。また、当該教室においてスポーツクラブと連携した運動教室をパイロットで実施した。 ・糖尿病患者の自己管理を促進するために食事療養やインスリン注射の指導を目的とした教育入院を行った。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="913 970 1579 1114"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室開催回数 (平均参加者数)</td> <td>12回 (26人)</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	糖尿病教室開催回数 (平均参加者数)	12回 (26人)		
事 項	平成28年度計画											
糖尿病教室開催回数	12回											
事 項	平成28年度実績											
糖尿病教室開催回数 (平均参加者数)	12回 (26人)											
(2)	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、各診療科の体制を整備する。 ・外来診療については地域医療機関との役割分 	<p>高度で専門性の高い医療</p> <p>① 高度な総合医療</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院や手術を中心とした急性期医療を安定的に提供するとともに、常勤の総合診療科及び産婦人科医師を配置した。また、新たに歯科口腔外科を開設し19診療科の体制とした。 ・外来診療については地域医療機関との役割分担のう 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・評価2。①歯科口腔外科の開設は評価できるが目標どおり。医療機器の共同利用は周知方法・利便性の検討が必要。②チーム医療体制の確立で早期リハビリはどのようになっているのか評価でき 							

担のうえ、専門外来を中心に高度医療機器等を利用した高度な総合医療を提供する。

- 放射線機器を中心とした医療機器の共同利用の仕組みを構築する。

② チーム医療の推進

- それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供する。
- 特に早期リハビリ、NST（栄養サポートチーム）等の分野におけるチーム医療体制を確立する。

③ 高度専門医療の充実

- 医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、必要に応じて診療科の再編や病院機能の充実又は見直しを行い、より高度な専門医療体制を目指す。
- 医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の取得をする。

え、専門外来を中心に高度医療機器等を利用した高度な総合医療を提供した。

- 放射線機器を中心とした医療機器の共同利用の仕組みを構築し受入れを開始した。

<実績数値>

事 項	平成28年度実績
医療機器の共同利用の件数	7件

② チーム医療の推進

- それぞれの専門性をもつ医療従事者が、目的と情報を共有し、互いに連携しながら患者本位の医療を提供することを目指し、救急部門と各診療科、各コメディカル部門との連携による救急医療を提供した。

- 医師を含む多職種で構成するNST（栄養サポートチーム）等のチーム医療体制を確立した。

③ 高度専門医療の充実

- 医療需要の質的、量的な変化や新たな医療課題に適切かつ柔軟に対応するため、総合診療科・歯科口腔外科・産婦人科を重点的に整備し、より高度な専門医療体制を構築した。

- 医療水準の更なる向上を図るため、法律等に基づく指定医療機関の指定や各種学会による認定施設の取得をした。

<主な実績>

指定・認定日	指定・認定内容
4月1日	薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設
8月15日	管理栄養士必置施設指定

ない。

- 高度専門医療を計画どおり提供しており、評価は3が適当。
- 医療機器の共同利用についてはあまり知られていないので、周知を図っていただきたい。

			9月1日	日本内科学会認定医制度審議会 認定医制度の教育関連病院								
4		安全・安心で信頼される医療										
(1)		医療安全対策の徹底	医療安全対策の徹底		4	3						
		<p>① 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理委員会を設置し、院内で発生した又は発生しそうな医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行うとともに、医療事故発生時には医療事故調査制度等を利用した十分な検証を行い、検証結果を公表するなど医療安全対策を徹底する。 医療安全管理マニュアル等に基づき、医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図る。 <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染管理委員会による研修会等の実施や感染対策チームを中心とした院内感染状況の把握、分析、評価を行い効率的な感染対策を行う。 千葉大学医学部附属病院との合同カンファレンスへの出席や認定看護師の配置など、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底する。 院内感染防止に関するマニュアルに基づき、 	<p>① 医療安全対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療安全管理委員会において、院内で発生した又は発生しそうな医療安全上の問題点についての収集、分析及び結果の検証を行った。なお、今年度は医療事故の発生はなかった。 医療安全管理マニュアル等に基づき、年2回の医療安全研修を実施し全職員が医療安全に対する共通理解と知識の向上を図った。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>医療安全・感染合同研修会</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>医療安全研修会</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 院内感染防止対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染管理委員会による研修会を実施するとともに感染対策チームを中心とした院内感染状況の把握、分析、評価を行い効率的な感染対策を行った。 千葉大学医学部附属病院の合同カンファレンスへの出席や認定看護師を配置するなど、院内感染防止に関する教育、訓練及び啓発を行い、医師をはじめとした医療スタッフの知識の向上を図るとともに、週1回の医療安全管理室会議などで問題点を把握し改善策を講ずるなど院内感染防止対策を徹底した。 院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適 	実施月	内容	9月	医療安全・感染合同研修会	12月	医療安全研修会			<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットの件数やその際の対応方法についても示していただきたい。研修の出席者数、出席率についても示していただきたい。 評価3。①発生しそうな問題点を検証している様であるが対策についてはどのようになっているか示してほしい。また、その頻度についても検証すべきである。アクシデントは医療事故であるとする。 医療安全対策の徹底については、計画どおり実施されていることから、評価は3が適切と考える。引き続き、医療安全対策の徹底により積極的に取り組んでいただきたい。 医療安全対策の項目について、具体性がない。どのような取組や研修をしているのか示していただきたい。
実施月	内容											
9月	医療安全・感染合同研修会											
12月	医療安全研修会											

	院内感染が発生した場合はマニュアル等に基づき適切に対処する。	切に対処した。 〈実績〉 <table border="1"> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> <tr> <td>認定看護師資格取得数</td> <td>1人</td> </tr> </table>	事 項	平成28年度実績	認定看護師資格取得数	1人													
事 項	平成28年度実績																		
認定看護師資格取得数	1人																		
(2)	<p>患者の視点に立った医療の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの取得を徹底する。 ・患者サービス向上委員会を中心に患者やその家族に対し満足度調査等を実施し、現状を把握するとともに職員全員又は各職種での接遇研修を適宜行うことにより患者満足度の高い医療の提供を行う。 	<p>患者の視点に立った医療の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフォームド・コンセントの取得を徹底するため、患者パス等のマニュアルの整備により職員の意思疎通を図った。 ・満足度の高い医療を提供するため、患者サービス向上委員会を中心に患者や来院者等に対し患者満足度調査を実施するとともに、意見箱の設置などにより現状の把握に努めた。また、職員全員又は各職種での接遇研修を適宜行うことにより患者満足度の高い医療を提供した。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>全職員対象接遇研修（第1回）</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>看護部接遇研修（第1回）</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>事務部接遇研修（第1回）</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>看護部接遇研修（第2回）</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>全職員対象接遇研修（第2回）</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>事務部接遇研修（第2回）</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	内容	7月	全職員対象接遇研修（第1回）	8月	看護部接遇研修（第1回）	12月	事務部接遇研修（第1回）	1月	看護部接遇研修（第2回）	3月	全職員対象接遇研修（第2回）	3月	事務部接遇研修（第2回）	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当だが、患者満足度調査および意見箱でデータを得るだけでなく、それをどのように患者満足度に反映するかが課題である。また、そのデータを公表していただきたい。
実施月	内容																		
7月	全職員対象接遇研修（第1回）																		
8月	看護部接遇研修（第1回）																		
12月	事務部接遇研修（第1回）																		
1月	看護部接遇研修（第2回）																		
3月	全職員対象接遇研修（第2回）																		
3月	事務部接遇研修（第2回）																		
(3)	<p>医療の標準化と診療情報の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス推進委員会を中心に策定した共通及び各診療科ごとのクリニカルパスの積極的な活用により効果的な医療を提供し、患者負担を軽減することで治療機関の短縮に寄与する。 ・診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、 	<p>医療の標準化と診療情報の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパス推進委員会を中心に策定した共通及び各診療科ごとのクリニカルパスの積極的な活用により効果的な医療を提供し、治療期間の短縮や患者負担の軽減を行った。 ・診療情報データを用いて他病院との比較分析を行い医療の質の改善と標準化を図るため、DPC制度 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標に対し200%の実績であれば評価4が適切と考える。 														

		<p>DPC制度（診断群分類別包括評価）の対象病院の認定を目指しDPC準備病院に参加するとともに、医療の標準化と診療データの分析・活用を行うための体制を構築する。</p> <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10症例以上に適用したクリニカルパス数</td> <td>10件</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	10症例以上に適用したクリニカルパス数	10件	<p>（診断群分類別包括評価）の対象病院の認定を目指しDPC準備病院に参加し適正なデータの作成をするとともに、医療の標準化と診療データの分析・活用を行うためにDPC導入ワーキンググループを設置した。</p> <p>〈実績数値〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10症例以上に適用したクリニカルパス数</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	10症例以上に適用したクリニカルパス数	20件			
事 項	平成28年度計画													
10症例以上に適用したクリニカルパス数	10件													
事 項	平成28年度実績													
10症例以上に適用したクリニカルパス数	20件													
	(4)	<p>法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的使命を適切に果たすため、医療法（昭和23年法律第205号）をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図る。 	<p>法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ、関係法令を遵守するとともに、住民からの信頼を確保するために各種マニュアルを整備し、適切な運用を図った。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・判断材料が乏しい。住民からの信頼を確保するための各種マニュアルとはどのようなものが何種類あるのか示していただきたい。 								
5		患者・住民サービスの向上												
	(1)	<p>利用しやすい病院づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃及び案内の充実を図る。出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識し整備する。 ・患者サービス向上委員会を活用し患者や来院者等を対象とした満足度調査を行い、その結果をもとに患者サービスの向上を図る。 	<p>利用しやすい病院づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者や来院者が快適に過ごせるよう院内清掃及び案内の充実を図り、出入口への車いすの配置等、総合案内や各受付職員を中心に高齢者や障害者が安心して医療を受けられる環境を常に意識し整備を行った。 ・患者サービス向上委員会を中心に患者や来院者等を対象とした満足度調査を実施するとともに、意見箱（投書、皆様の声）の設置などにより現状を把握し、問題点等については改善を行うなど、患者の視点に立ったサービスの向上を図った。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月</td> <td>患者満足度調査（アンケート）</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	内容	11月	患者満足度調査（アンケート）	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価2。患者サービス向上委員会は何回開催され、どのような改善を行ったのか示してほしい。また、アンケートも1回では足りないを考える。 ・意見箱は、患者・来院者が気軽に投稿できるよう検討いただきたい。休日来院者への配慮もしていただきたい。（通路に屋根がない）。 ・満足度調査の結果や意見箱の投書について、具体的な改善事例を示していただきたい。 ・予約方法などの統一をお願いしたい。 				
実施月	内容													
11月	患者満足度調査（アンケート）													
	(2)	患者の待ち時間への配慮	患者の待ち時間への配慮	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当。設備投資による 								

	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療、会計等の待ち時間を短縮するための対策として、再来受付機や自動支払機を12月に設置し窓口業務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来診療、会計等の待ち時間を短縮するための対策として、再来受付機や会計番号表示板を使用した会計システムと自動診療費支払機を導入し、窓口業務の効率化を図った。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>設置台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再来受付機</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>自動診療費支払機</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	設置台数	再来受付機	2台	自動診療費支払機	1台			具体的な効果を検証していただきたい。		
事 項	設置台数												
再来受付機	2台												
自動診療費支払機	1台												
(3)	<p>患者・来院者の利便性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者や来院者の視点に立ってアメニティの状況を検討し、利便性の充実に向けた対応を行う。 	<p>患者・来院者の利便性への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合受付ロビーへの大型テレビの設置や産婦人科外来待合のソファの増設など、来院者の視点に立ってアメニティの状況を検討し、利便性の充実に向けた対応を行った。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当。患者・来院者が気軽に意見箱へ投稿できるようにし、その意見を常に把握し定期的に検討していくべきである。休日来院者への配慮もしていただきたい。(通路に屋根がない)。 ・100点満点はありません項目であり、コストパフォーマンスを含めて対応していく必要があると考える。 								
(4)	<p>住民への保健医療情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、多職種による住民対象の公開講座の開催やホームページ・フェイスブック等の活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図る。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座開催回数</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	公開講座開催回数	4回	<p>住民への保健医療情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療に関する専門分野の知識や蓄積された情報を活用して、多職種による住民対象の公開講座を開催した。 ・ホームページ・広報誌(東千葉メディカルセンターNEWS)・フェイスブック等の活用等により保健医療情報やメディカルセンターの医療内容を発信し、住民の医療や健康に対する意識の啓発を図った。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座開催回数 (平均参加者数)</td> <td>4回 (58人)</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	公開講座開催回数 (平均参加者数)	4回 (58人)	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価2。糖尿病教室開催の周知方法やホームページ等への掲示について適時行っていただきたい。 ・地域住民にとって大変貴重な取組と思われるので、引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
事 項	平成28年度計画												
公開講座開催回数	4回												
事 項	平成28年度実績												
公開講座開催回数 (平均参加者数)	4回 (58人)												

			糖尿病教室開催回数 (再掲) (平均参加者数)	12回 (26人)													
(5)	<p>広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページや広報誌（東千葉メディカルセンターNEWS）の発行により、外来案内、入院案内、診療科の開設状況、病棟の開棟に伴う診療情報等をリアルタイムに提供する。 設立団体の広報等を積極的に活用し、幅広い広報活動を展開する。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌発行回数</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	広報誌発行回数	2回	<p>広報活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院ホームページに加え看護部のホームページを整備するなどの情報提供の充実を行うとともに、パンフレットの作成や病院広報誌（東千葉メディカルセンターNEWS）の発行等、広報活動に注力した。また、フェイスブックを活用し、リアルタイムな情報提供を行った。 設立団体の広報等を積極的に活用し、幅広い広報活動を展開した。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌発行回数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>フェイスブック更新回数</td> <td>25回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	広報誌発行回数	2回	フェイスブック更新回数	25回	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 評価2。数値目標が達成されている事は評価できるが、ホームページ等への掲示について適時行っていただきたい。 広報手段の多様化や頻度に加え、病院の提供している医療の具体的な内容などもより積極的に広報することで病院への理解が高まり、利用の促進につながると考える。 		
事 項	平成28年度計画																
広報誌発行回数	2回																
事 項	平成28年度実績																
広報誌発行回数	2回																
フェイスブック更新回数	25回																
(6)	<p>職員の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者への接遇がメディカルセンターに対する印象を大きく左右することを職員一人ひとりが認識し、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応の実現に向けて、全体及び職種ごとに接遇研修を定期的に行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全職員向け接遇研修開催回数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>職種別接遇研修開催回数</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	全職員向け接遇研修開催回数	2回	職種別接遇研修開催回数	3回	<p>職員の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者への接遇がメディカルセンターに対する印象を大きく左右することを職員一人ひとりが認識し、思いやりと気配りがあふれ、心落ち着く対応の実現に向けて、全体及び職種ごとに接遇研修を定期的に行った。 <p><実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全職員向け接遇研修開催回数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>職種別接遇研修開催回数</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	全職員向け接遇研修開催回数	2回	職種別接遇研修開催回数	4回	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 2次救急にも対応していくとのことで、現場の医師や看護師などに組織として意思統一を図っていただきたい。 評価は妥当。研修の開催回数は目的を達成しているが、受講人数・受講率はどの様になっているか数値化して頂きたい。 患者や来院者への接遇が向上したか検証していただきたい。 研修内容や参加実績について明示するとともに、研修の成果として表れる患者満足度調査の結果などを踏まえ、改
事 項	平成28年度計画																
全職員向け接遇研修開催回数	2回																
職種別接遇研修開催回数	3回																
事 項	平成28年度実績																
全職員向け接遇研修開催回数	2回																
職種別接遇研修開催回数	4回																

					善点を検討し、接遇の向上に引き続き取り組んでいただきたい。																				
6	地域医療への貢献																								
(1)	<p>地域医療機関等との連携推進</p> <p>① 自治体が行き組む地域包括ケアシステムを構成する組織としての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体が行き組む地域包括ケアシステムを構成する組織として、メディカルセンターとしての役割をふまえ、地域医療機関からの紹介患者の受入れと患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進する。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（再掲）</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（再掲）</td> <td>70.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 地域医療支援病院への承認</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関等との相互連携を強化する取り組みを行い、紹介率・逆紹介率の向上を図り、地域医療支援病院の承認に向けた準備を進める。 <p>③ 医療圏の中核病院としての機能の定着化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体が行き組む地域包括ケアシステムなどによる機能分化を推進するため、地域医療機関との役割分担を明確化し医療圏の中核病院としての機能を定着化させる。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病診連携の取組（会議等）</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	紹介率（再掲）	50.0%	逆紹介率（再掲）	70.0%	事 項	平成28年度計画	病診連携の取組（会議等）	2回	<p>地域医療機関等との連携推進</p> <p>① 自治体が行き組む地域包括ケアシステムを構成する組織としての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体が行き組む地域包括ケアシステムを構成する組織として、メディカルセンターとしての役割をふまえ、地域医療機関からの紹介患者の受入れと患者に適した地域医療機関等への逆紹介を推進した。しかしながら、逆紹介率については、小児科等の紹介先の不足などもあり、計画値に至らなかった。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率（再掲）</td> <td>49.6%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率（再掲）</td> <td>41.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 地域医療支援病院への承認</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療機関等との相互連携を強化する取り組みを行い、紹介率・逆紹介率の向上に努め、地域医療支援病院の承認に向けた準備を進めた。 <p>③ 医療圏の中核病院としての機能の定着化</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体が行き組む地域包括ケアシステムなどによる機能分化を推進するため、地域医療機関との役割分担を明確化し医療圏の中核病院としての機能を定着化させるための活動を行った。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病診連携懇談会等</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	紹介率（再掲）	49.6%	逆紹介率（再掲）	41.6%	事 項	平成28年度実績	病診連携懇談会等	4回	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 評価は妥当。小児科の紹介先不足を理由にしているが、小児科不足を地域に切望されて開設した科目であり、地域の医療事情を鑑みて対応していただきたい。 地域医療支援病院の承認に向け、紹介率・逆紹介率の向上は必須であり、早急に改善に向けて具体的な対策に取り組んでいただきたい。
事 項	平成28年度計画																								
紹介率（再掲）	50.0%																								
逆紹介率（再掲）	70.0%																								
事 項	平成28年度計画																								
病診連携の取組（会議等）	2回																								
事 項	平成28年度実績																								
紹介率（再掲）	49.6%																								
逆紹介率（再掲）	41.6%																								
事 項	平成28年度実績																								
病診連携懇談会等	4回																								

	<p>(2) 保健福祉行政等との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業や乳幼児健診等の地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図るとともに、特に乳幼児健診やがん検診等に係る精密検査は、地域医療機関との役割分担を明確にした上で実施する。 自治体消防部局と連携し救急救命士の教育・研修の受け入れを行う。 医師会については、共同で講演会を開催する等の活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図る。 	<p>保健福祉行政等との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業や乳幼児健診等の地域保健及び福祉施策に協力し自治体担当部局と連携を図った。特に乳幼児健診やがん検診等に係る精密検査は、地域医療機関との役割分担を明確にした上で実施した。 自治体消防部局と連携し救急救命士の教育・研修の受け入れを行った。 医師会については、共同で講演会を開催する等の活動に積極的に参加し情報交換を適宜行うなど必要な協力連携を図った。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="920 738 1579 941"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命士研修の受入人数</td> <td>43人</td> </tr> <tr> <td>医師会共同講演会等の開催回数</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	救急救命士研修の受入人数	43人	医師会共同講演会等の開催回数	1回	3	3
事 項	平成28年度実績									
救急救命士研修の受入人数	43人									
医師会共同講演会等の開催回数	1回									
	<p>(3) 疾病予防の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防医療の一環として、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業に参加しインフルエンザワクチン等の各種ワクチンの個別接種を行う。 地域中核病院としての安定した病院経営を図った上で、人間ドック、健診等の実施について検討する。 	<p>疾病予防の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防医療の一環として、千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業に参加しインフルエンザワクチン等の各種ワクチンの個別接種を行った。 人間ドック、健診等の実施については、地域中核病院としての安定した病院経営を図った上で、検討することとした。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="920 1305 1579 1425"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業の予</td> <td>1,682件</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業の予	1,682件	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会等を早期に設置すべきと考える。 	
事 項	平成28年度実績									
千葉県内定期予防接種相互乗り入れ事業の予	1,682件									

			防接種実施件数																							
7		<p>メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟</p> <p>・平成28年度については、歯科口腔外科を開設し19診療科とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td>平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)</td> </tr> <tr> <td>開設病棟 (稼働病床)</td> <td>221床 (209床)</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟) (稼働病床)</td> <td>5病棟 159床 (159床)</td> </tr> <tr> <td>(地域包括ケア病棟) (稼働病床)</td> <td>1病棟 42床 (30床)</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU 10床 HCU 10床</td> </tr> </table>	診療科 (診療科数)	平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)	開設病棟 (稼働病床)	221床 (209床)	(一般病棟) (稼働病床)	5病棟 159床 (159床)	(地域包括ケア病棟) (稼働病床)	1病棟 42床 (30床)	(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床	<p>・平成28年度については、歯科口腔外科を開設し19診療科の体制を構築した。</p> <table border="1"> <tr> <td>診療科 (診療科数)</td> <td>平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)</td> </tr> <tr> <td>開設病棟 (稼働病床)</td> <td>221床 (209床)</td> </tr> <tr> <td>(一般病棟) (稼働病床)</td> <td>5病棟 159床 (159床)</td> </tr> <tr> <td>(地域包括ケア病棟) (稼働病床)</td> <td>1病棟 42床 (30床)</td> </tr> <tr> <td>(救命救急センター)</td> <td>ICU 10床 HCU 10床</td> </tr> </table>	診療科 (診療科数)	平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)	開設病棟 (稼働病床)	221床 (209床)	(一般病棟) (稼働病床)	5病棟 159床 (159床)	(地域包括ケア病棟) (稼働病床)	1病棟 42床 (30床)	(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床	3	3	<p>・評価は妥当。フルオープンへの努力を引き続きお願いしたい。</p> <p>・今後、地域のニーズや効率的な病院運営の観点を踏まえ、病棟の開棟を進めていただきたい。</p>
診療科 (診療科数)	平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)																									
開設病棟 (稼働病床)	221床 (209床)																									
(一般病棟) (稼働病床)	5病棟 159床 (159床)																									
(地域包括ケア病棟) (稼働病床)	1病棟 42床 (30床)																									
(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床																									
診療科 (診療科数)	平成28年度 内科（総合診療科）、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、循環器内科、代謝・内分泌内科、小児科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、精神科、歯科口腔外科、救急科 (19科)																									
開設病棟 (稼働病床)	221床 (209床)																									
(一般病棟) (稼働病床)	5病棟 159床 (159床)																									
(地域包括ケア病棟) (稼働病床)	1病棟 42床 (30床)																									
(救命救急センター)	ICU 10床 HCU 10床																									
2		業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのとるべき措置																								
1		<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <p>(1) 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <p>・医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置する。</p>	<p>効率的かつ効果的な業務運営体制の整備</p> <p>・医療環境の変化等に的確に対応できるように、理事長のリーダーシップのもと経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置した。</p>	3	3	<p>・評価は妥当。モチベーション向上の為に執行部会、各委員会の内容について公表すべきである。</p>																				

	<ul style="list-style-type: none"> 副センター長や各部門責任者、院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備するとともに、全ての職員が目標を共有し、協力して目標を達成するため、病院の運営情報を定期的に報告する場を設ける。 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる目標を達成するため、各部門責任者等で構成する自己評価のための組織を立ち上げ、目標達成の進捗管理を徹底して行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="336 622 862 782"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員を対象とした運営状況の説明会開催回数</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	職員を対象とした運営状況の説明会開催回数	2回	<ul style="list-style-type: none"> 副センター長や各部門責任者、院内委員会等に明確な役割分担と適切な権限配分を行い、意思決定を迅速かつ適切に行うことができる効率的かつ効果的な業務運営体制を整備するとともに、全ての職員が目標を共有し、協力して目標を達成するため、病院の運営情報を定期的に報告する場を設けた。 中期目標、中期計画及び年度計画に掲げた目標を達成するため、各部門責任者等で構成する運営委員による運営会議を行い、目標達成に向けた進捗管理を徹底して行った。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="918 622 1579 981"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執行部会の開催状況</td> <td>毎朝開催</td> </tr> <tr> <td>委員会の設置数</td> <td>32委員会</td> </tr> <tr> <td>職員を対象とした運営状況の説明会開催回数</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>運営会議の実施回数</td> <td>21回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	執行部会の開催状況	毎朝開催	委員会の設置数	32委員会	職員を対象とした運営状況の説明会開催回数	2回	運営会議の実施回数	21回		
事 項	平成28年度計画																	
職員を対象とした運営状況の説明会開催回数	2回																	
事 項	平成28年度実績																	
執行部会の開催状況	毎朝開催																	
委員会の設置数	32委員会																	
職員を対象とした運営状況の説明会開催回数	2回																	
運営会議の実施回数	21回																	
(2)	<p>人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、必要に応じて医師や看護師等の人員配置の見直しを行うことにより、効率的な業務運営を実施し時間外勤務を削減する。 適正な人員配置を考慮し、必要に応じて他の医療機関等との人事交流等を検討する。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="336 1324 862 1444"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務時間の削減</td> <td>前年度比10%減</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	時間外勤務時間の削減	前年度比10%減	<p>人員配置の弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や業務量の変化に柔軟かつ迅速に対応し、必要に応じて医師や看護師等の人員配置の見直しを行うことにより、効率的な業務運営を実施し時間外勤務の削減に努めた。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="918 1324 1579 1444"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間外勤務時間の削減 (職員1人あたりの年平均額により算出)</td> <td>前年度比4.0%減</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	時間外勤務時間の削減 (職員1人あたりの年平均額により算出)	前年度比4.0%減	3 2	<ul style="list-style-type: none"> 評価2。目標値-10%に対し-4%と半分もクリアできていない。数値-4%は人員増によるもので適正配置によるものではない。 時間外勤務時間の削減が、計画を下回っていることから、評価は2が妥当と考える。 医師の入れ替わりに伴う超過勤務単価の変動が影響しているのであれば、金額ベース 						
事 項	平成28年度計画																	
時間外勤務時間の削減	前年度比10%減																	
事 項	平成28年度実績																	
時間外勤務時間の削減 (職員1人あたりの年平均額により算出)	前年度比4.0%減																	

						<p>ではなく、時間ベースによる目標値の設定が妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外の分析や対策はどのようになっているか。対策をとった結果について示していただきたい。 ・人員の体制の強化が図られている状況で、目標に満たなかったことから評価2が妥当と考える。 				
	(3)	<p>人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入する。効果的な評定制度とするため、評定者研修等を行う。 	<p>人事評価制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員のモチベーションの向上と組織の活性化を図るため、職員の自己点検・自己評価が反映され、勤務実績や能力、組織への貢献度が適正に評価される人事評価制度を導入するべく、事務部を対象に試行的に実施した。 <p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人事評価対象職員数 (職員総数)</td> <td>75人 (446人)</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	人事評価対象職員数 (職員総数)	75人 (446人)	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の導入について具体的な計画を示していただきたい。 ・評価1。全職員に人事評価制度導入の意思表示をすべきである。マニュアルを作成し、評定者研修等の実施を早急にすべきと考える。 ・医療従事者を対象とした人事評価制度の導入について、検討状況をお示しいただきたい。
事 項	平成28年度実績									
人事評価対象職員数 (職員総数)	75人 (446人)									
	(4)	<p>外部評価</p> <p>① 病院経営等の専門家の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度計画に掲げる目標を着実に達成できるよう、外部の病院経営等の専門家による検証を活用し、進捗管理を徹底する。 ・特に、経常収支・資金収支・医療体制においては、医療需要等の分析・改善等に関する技術的な支援や職員への個別ヒアリング等の手法を用いて必要な見直しを適宜行う。 <p>② 監査の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行うとともにその結果 	<p>外部評価</p> <p>① 病院経営等の専門家の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の病院経営等の専門家による検証を活用し、進捗管理を徹底するための準備を行った。 ・経常収支等については、データを提供し分析を依頼するなどして運営の見直しに活用した。 <p>② 監査の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監査によって指摘を受けた事項については、必要な見直しを適宜行い、その結果をホームページ等で公表 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の専門家による職員に対する個別ヒアリングが実施されておらず、評価は2が妥当と考える。外部の専門家の活用にあたっては、特に経常収支・資金収支・医療体制に関して医療需要等の分析・改善等に関する技術的な支援や個別ヒアリングを実施していただきたい。アンケートや意見箱からの意見とそれを踏まえた対応策について 				

		<p>を公表する。</p> <p>③ 病院機能評価等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的に医療を提供するための基本的な活動や機能を適切に実施しているかを検証するため、病院機能評価等の評価項目による検証を行うための準備を行う。 <p>④ 住民意見の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を活用した満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図る。 	<p>した。</p> <p>③ 病院機能評価等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院機能評価等の評価項目を参考にした病院機能の状況を検証するための検討を行った。 <p>④ 住民意見の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民意見を病院運営に反映させるため、患者サービス向上委員会を中心に満足度調査の実施や意見箱の設置などにより住民から意見を収集し、サービスの向上を図った。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査（アンケート）</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>意見箱の投書件数</td> <td>178件</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	患者満足度調査（アンケート）	1回	意見箱の投書件数	178件			<p>示していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価2。①進捗管理の徹底については準備段階である。②改善に関する必要な見直しを適宜行っていない。③検証はしていない。④一般住民からの意見も収集すべきである。具体的にどのようなサービス向上を図ったか公表すべきと考える。 ・患者アンケートについて、何件くらい回答があったか示していただきたい。
事 項	平成28年度実績											
患者満足度調査（アンケート）	1回											
意見箱の投書件数	178件											
2		<p>人材の確保</p>										
	(1)	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備する。 	<p>千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学との協定によりメディカルセンター内に設置した千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、医師の養成及びメディカルセンターへの定着を図るとともに、指導医による安定的な診療体制を整備した。 	3	3							
	(2)	<p>医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、診療規模に見合った医師数の確保を行うとともに臨床研修医の受入れを行い、臨床研修指定病院の指定を目指す。 <p>〈関連する数値目標〉</p>	<p>医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターと連携し、診療規模に見合った医師数の確保を行うとともに、千葉大学医学部附属病院の臨床研修協力施設として臨床研修医の受入れを行った。 <p>〈実績〉</p>	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当。臨床研修指定病院の指定を目指していただきたい。 ・今後の臨床研修医の確保に向けた取組及び確保計画をお示しいただきたい。 						

		事 項	平成28年度計画	事 項	平成28年度実績																
		医師数	44人	常勤医師数	42人																
		臨床研修医の受入れ数	5人	臨床研修医の受入れ数	5人																
(3)	<p>看護師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に基づいた円滑な病床の開床を実現するため、看護師確保対策室による組織的な看護師確保対策を行い、7対1入院基本料等の看護師配置基準の堅持に必要な看護師数を確保する。 ・合同就職説明会への参加、就職説明会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への広告掲載、奨学金制度、復職支援研修による休職している看護師資格者の掘り起こし等により、新規採用者及び中途採用者の確保、研修体制や労働条件等の充実による看護師の定着を図る。 ・城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与する。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図る。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師数</td> <td>196人</td> </tr> <tr> <td>看護師定着率</td> <td>88%以上</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	看護師数	196人	看護師定着率	88%以上	<p>看護師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中期計画に基づいた円滑な病床の開床を実現するため、看護師確保対策室による組織的な看護師確保対策を行い、7対1入院基本料等の看護師配置基準の堅持に必要な看護師数を確保した。 ・合同就職説明会への参加、病院見学会・採用試験の複数回実施、インターネットをはじめとした各種媒体への募集広告の掲載、奨学金制度の実施、復職支援研修による休職している看護師の掘り起こし等により新規採用者及び中途採用者の確保を図った。また、研修体制や労働条件等の充実による看護師の定着を図った。 ・城西国際大学等の看護師養成機関からの看護学生の実習を積極的に受け入れ、地域における看護師の育成に寄与した。特に最終学年の学生を対象にインターンシップを実施し、実際の医療現場を経験させることで卒業後のメディカルセンターへの就職希望者の確保を図った。 <p><実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合同就職説明会参加回数 (参加人数)</td> <td>3回 (61人)</td> </tr> <tr> <td>就職説明会実施回数 (参加人数)</td> <td>38回 (52人)</td> </tr> <tr> <td>看護師採用試験の実施回数</td> <td>30回</td> </tr> <tr> <td>復職支援研修の実施回数</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	合同就職説明会参加回数 (参加人数)	3回 (61人)	就職説明会実施回数 (参加人数)	38回 (52人)	看護師採用試験の実施回数	30回	復職支援研修の実施回数	10回	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の定着率が目標に届かず、認定看護師・専門看護師の取得の数も少ないと思われる。看護師の入れ替わりも大きく、チームワークにも影響があるのではないかと。量の確保だけでなく、質向上に向け、引き続き対策をお願いしたい。 ・評価は妥当。看護師定着率は計画値以下で対策が必要。インターンシップ参加者の当病院への就職割合について示してほしい。看護師の確保は必要であるが、余剰人員は経営の圧迫につながることから、採用のコントロールを徹底していただきたい。 ・看護師の確保は計画どおり実施されていることは評価できる。 ・7対1入院基本料等の看護配置基準が堅持できるよう引き続き確保していただきたい。 ・確保にあたっては、新規採用・経験者のバランスのとれた確保に努めていただきたい。
事 項	平成28年度計画																				
看護師数	196人																				
看護師定着率	88%以上																				
事 項	平成28年度実績																				
合同就職説明会参加回数 (参加人数)	3回 (61人)																				
就職説明会実施回数 (参加人数)	38回 (52人)																				
看護師採用試験の実施回数	30回																				
復職支援研修の実施回数	10回																				

			<table border="1"> <tr> <td>(参加人数)</td> <td>(6人)</td> </tr> <tr> <td>奨学生の人数</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数 (内年度内入職者数)</td> <td>210人 (79人)</td> </tr> <tr> <td>看護師定着率</td> <td>85.65%</td> </tr> <tr> <td>看護実習の受入れ校数</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ参加人数</td> <td>12人</td> </tr> </table>	(参加人数)	(6人)	奨学生の人数	28人	常勤看護師数 (内年度内入職者数)	210人 (79人)	看護師定着率	85.65%	看護実習の受入れ校数	2校	インターンシップ参加人数	12人					
(参加人数)	(6人)																			
奨学生の人数	28人																			
常勤看護師数 (内年度内入職者数)	210人 (79人)																			
看護師定着率	85.65%																			
看護実習の受入れ校数	2校																			
インターンシップ参加人数	12人																			
3	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核病院として十分に機能するため、学会、研究会及び研修会への参加と認定看護師等の職務上必要な資格の取得を計画的に促進する。 ・医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進するとともに、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職についても、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討する。 ・事務職員については、診療情報管理士等の必要な資格取得を促進する。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会等参加数</td> <td>25人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	研修会等参加数	25人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中核病院として十分に機能するため、学会、研究会及び研修会への参加と認定看護師等の職務上必要な資格の取得を計画的に促進した。 ・医師については、各分野の認定専門医、看護師については、専門看護師、認定看護師等の資格取得を促進した。また、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の医療技術職については、専門性と医療技術の向上に向けた計画的な研修計画の策定を検討した。 ・事務職員については、診療情報管理士や医療事務の研修生を受け入れるなど、将来必要な人材育成を行った。 <p><実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会等参加数</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>認定看護師資格取得数</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>専門看護師認定数</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>医事研修の受入れ数</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	研修会等参加数	123人	認定看護師資格取得数	1人	専門看護師認定数	1人	医事研修の受入れ数	4人	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の参加人数は計画を大幅に上回っているが、評価4は高いと感じる。研修計画の策定については、部門に進捗の差があることから、早急に策定いただきたい。 ・職員を段階的に採用している状況であることを踏まえ、提供するサービスの質・チームワークの向上などに向けて十分な研修を行っていただきたい。 <p>事務職員の育成については、計画的かつ効率的に行っていただきたい。</p>
事 項	平成28年度計画																			
研修会等参加数	25人																			
事 項	平成28年度実績																			
研修会等参加数	123人																			
認定看護師資格取得数	1人																			
専門看護師認定数	1人																			
医事研修の受入れ数	4人																			
4	働きやすい職場環境の整備																			

		<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師等の職員が業務に精励できるような各種制度の整備を図る。 ・医師・看護師等の業務負担軽減のための医師事務作業補助者及び看護補助者を適正配置し体制を整える。 ・育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師等の職員が業務に精励できる体制の整備を図った。 ・医師・看護師等の業務負担軽減のための医師事務作業補助者及び看護補助者を適正配置し体制を整えた。 ・育児短時間勤務制度等の育児中の職員に配慮した勤務形態の運用を行った。また、職員の休暇取得の促進等の取り組みを進めた。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者数</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>看護補助者数 (内非常勤数)</td> <td>32人 (13人)</td> </tr> <tr> <td>育児短時間勤務制度の 適用者</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>職員の有給休暇取得率</td> <td>34.1%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	医師事務作業補助者数	7人	看護補助者数 (内非常勤数)	32人 (13人)	育児短時間勤務制度の 適用者	2人	職員の有給休暇取得率	34.1%	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として、離職率が高いことから、退職理由の分析やそれに対する改善を図っていただきたい。奨学金を受けた看護師が4年で退職することのないよう定着に向けて積極的に取り組んでいただきたい。 ・職員の満足度調査を実施すると違った視点から改善策が見えてくるので、実施に向け検討いただきたい。 ・評価は妥当。残業等減っていない現状を再確認し整備する必要があると考える。 ・アンケート数について、入院患者23件、外来625件は、母数としては格段に少ない。入院患者であれば8割の意見がなければ、診療科別のデータも出てこない。待ち時間やインフラ問題以外にどのようなニーズがあるのか掘り起こし、改善していただきたい。 ・看護師の離職率は、待遇・インフラ・職場改善を図っても辞めてしまう方は多いので、ここは考え方を改めて、新人看護師の早期育成に力を入れることも検討すべきと考える。
事 項	平成28年度実績															
医師事務作業補助者数	7人															
看護補助者数 (内非常勤数)	32人 (13人)															
育児短時間勤務制度の 適用者	2人															
職員の有給休暇取得率	34.1%															
5		職員給与の原則														
		・職員の給与については、診療報酬改定等のメ	・職員の給与については、診療報酬改定等のメディカ	2	2	・職員の給与について、地域や										

		<p>ディカルセンターを取り巻く状況と業務実績を踏まえ、弾力的かつ職員の定着を促進するよう給与制度の見直しを行う。</p> <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収益対職員給与費率</td> <td>65.0%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	医業収益対職員給与費率	65.0%	<p>ルセンターを取り巻く状況と業務実績を踏まえ、弾力的かつ職員の定着を促進するよう給与制度の見直しを行った。</p> <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医業収益対職員給与費率</td> <td>65.8%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	医業収益対職員給与費率	65.8%		<p>業界水準の平均にしているか調査し、特に昇給・昇格の額があまり低いと離職につながることから、職員の定着を促進するための給与制度の見直しについては、数値にとらわれず、職員が満足する給与かどうか確認し、対策をしたほうがよいと考える。</p>	
事 項	平成28年度計画													
医業収益対職員給与費率	65.0%													
事 項	平成28年度実績													
医業収益対職員給与費率	65.8%													
3		財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置												
	1	健全な経営基盤の確立												
	(1)	<p>健全な経営基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置し、組織全体がコスト意識を持った組織運営を行うとともに、メディカルセンターが有する人材・施設整備を最大限に活用し、経常収支・資金収支の改善を図るべく方策を講じることにより、将来にわたって公的な役割を果たすことができる安定的な経営基盤を確立する。 平成32年度までに経営収支比率100%以上が達成できるよう、経営の健全化に向けた具体的な方策の策定や経営指標に関する数値目標の設定など必要な措置を講じる。 <p>〈関連する数値目標〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員を対象とした運営状況の説明会</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	職員を対象とした運営状況の説明会	2回	<p>健全な経営基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営等に関する重要課題を審議する機関として執行部会を設置し、組織全体がコスト意識を持った組織運営を行うとともに、メディカルセンターが有する人材・施設整備を最大限に活用し、経常収支・資金収支の改善を図るべく方策を講じることにより、将来にわたって公的な役割を果たすことができる安定的な経営基盤の確立に努めた。 平成32年度までに経営収支比率100%以上を達成するため、各部門責任者等で構成する運営委員による運営会議を行い、目標達成に向けた進捗管理を徹底して行うなど、経営の健全化に向けた具体的な方策の検討や経営指標に関する数値目標の設定など必要な措置を講じた。 <p>〈実績〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>執行部会の開催状況（再掲）</td> <td>毎朝開催</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	執行部会の開催状況（再掲）	毎朝開催	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 経常収支比率及び医業収支比率は計画を下回っており安定的な経営基盤を確立することは急務である。運営会議や執行部会などにおいては、目標達成を図るため個別具体の対策を検討し、全職員にその実行を周知徹底することなどを通じて経営基盤の確立に努めていただきたい。 検討にあたっては、外部専門家による検証を十分に活用し、計画の進捗管理を徹底していただきたい。 入院や外来の患者数および単価ともほぼ目標に達成しているのに、経常収益が約4億円不足していることについて、収支の分析内容について示していただきたい。
事 項	平成28年度計画													
職員を対象とした運営状況の説明会	2回													
事 項	平成28年度実績													
執行部会の開催状況（再掲）	毎朝開催													

		<table border="1"> <tr> <td>開催回数（再掲）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>87.0%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>74.0%</td> </tr> </table>	開催回数（再掲）		経常収支比率	87.0%	医業収支比率	74.0%	<table border="1"> <tr> <td>職員を対象とした運営状況の説明会開催回数（再掲）</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>運営会議の実施回数（再掲）</td> <td>21回</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>72.9%</td> </tr> </table>	職員を対象とした運営状況の説明会開催回数（再掲）	2回	運営会議の実施回数（再掲）	21回	経常収支比率	83.3%	医業収支比率	72.9%			
開催回数（再掲）																				
経常収支比率	87.0%																			
医業収支比率	74.0%																			
職員を対象とした運営状況の説明会開催回数（再掲）	2回																			
運営会議の実施回数（再掲）	21回																			
経常収支比率	83.3%																			
医業収支比率	72.9%																			
	(2)	<p>経営情報システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 財務会計システム及び人事給与システムは、経営判断や経営管理を行うためのシステムであり、より効率的・効果的な使用を行う。 	<p>経営情報システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 財務会計システム及び人事給与システムは、経営判断や経営管理を行うためのシステムであり、より効率的・効果的な使用を図った。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 評価は妥当。より一層効果的なシステムの使用をお願いしたい。 														
2		<p>収益の確保と費用の合理化</p>																		
	(1)	<p>収益の確保</p> <p>① 入院収益・外来収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療環境の変化に的確に対応し、適切な施設基準の取得による診療報酬の確保を図るとともに、病床利用率の向上や高度医療機器の稼働率向上に取り組む。 更に地域医療機関との連携を図り、紹介・逆紹介の増加を図ることにより、入院患者及び外来患者を適正に確保しつつ、メディカルセンターの機能を十分に活用した手術数の増加を図る。 <p>② 診療報酬への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定に対応した加算措置や施設基準の取得について検討するとともに医療の機能分化やその強化に必要な7対1入院基本料を堅持する等の医療提供体制の整備に努める。 	<p>収益の確保</p> <p>① 入院収益・外来収益の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療環境の変化に的確に対応し、適切な施設基準の取得による診療報酬の確保を図った。また、年度計画どおりに増床を行い、外来・入院ともに概ね計画値どおりの患者数及び診療単価を確保した。さらに、放射線機器を中心とした医療機器の共同利用の仕組みを構築するなど高度医療機器の稼働率向上に取り組んだ。 更に地域医療機関との連携を図り、紹介・逆紹介の増加を図ることにより、入院患者及び外来患者を適正に確保しつつ、メディカルセンターの機能を十分に活用した手術数の増加を図った。 <p>② 診療報酬への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療報酬改定に対応した加算措置や施設基準の取得に努め、医療の機能分化やその強化に必要な7対1入院基本料を堅持する等の医療提供体制の整備を行った。 	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 経常収益は計画を約4億円下回っており収支の改善は急務である。経常収益が計画を下回った要因を分析し早急に具体的な対策を講じ、改善に取り組んでいただきたい。査定率が計画を上回っている状況であるが、その要因を分析し改善していただきたい。 														

③ 保険外診療収益の確保

- ・地域中核病院としての安定した病院経営を図った上で、人間ドック、健康診断等の保険外診療収益の確保について検討する。

<関連する数値目標>

事 項		平成28年度計画
経常収益		6, 239百万円
入院	病床稼働率 (対稼働病床)	79%
	平均患者数	166.0人/日
	診療報酬単価	70,000円
	平均在院日数	11.5日
	査定率	0.5%
外来	平均患者数(医科)	255.0人/日
	診療報酬単価(医科)	12,400円
	平均患者数(歯科)	8.0人/日
	診療報酬単価(歯科)	2,700円
	査定率	0.3%
紹介率(再掲)		50.0%
逆紹介率(再掲)		70.0%
高度医療機器の稼働数		MRI 対前年度比5%増

③ 保険外診療収益の確保

- 人間ドック、健康診断等の保険外診療収益の確保については、地域中核病院としての安定した病院経営を図った上で検討していくこととした。

<実績数値>

事 項		平成28年度実績
経常収益		5, 875百万円
入院	病床稼働率 (対稼働病床)	79.4%
	平均患者数	164.9人/日
	診療報酬単価	70,134円
	平均在院日数	12.0日
	査定率	0.69%
外来	平均患者数(医科)	266.1人/日
	診療報酬単価(医科)	12,538円
	平均患者数(歯科)	15.0人/日
	診療報酬単価(歯科)	4,997円
	査定率	0.34%
紹介率(再掲)		49.6%
逆紹介率(再掲)		41.6%
高度医療機器の稼働数		MRI 稼働数4,918件 MRI 前年度比38.6%増
手術件数		1,468件 前年度比49.8%増

	<p>(2) 費用の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益規模に応じた予算編成を行い、地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行う。 ・目標を持った徹底したコスト管理を行うとともに、各委員会等を利用した職員のコスト意識の向上を図る。 ・具体的には、透明性、公平性の確保に十分留意しつつ民間病院の取組を参考に複数年契約、複合契約等の多様な契約手法、ベンチマーク等の指標を活用し費用の合理化及び節減を図る。 ・ジェネリック医薬品の採用率を上げ、費用の節減を図る。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1" data-bbox="286 699 869 1018"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常費用</td> <td>7, 163百万円</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対材料費率</td> <td>28.0%</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対経費率</td> <td>31.0%</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対職員給与費率(再掲)</td> <td>65.0%</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品採用率</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	経常費用	7, 163百万円	医薬収益対材料費率	28.0%	医薬収益対経費率	31.0%	医薬収益対職員給与費率(再掲)	65.0%	ジェネリック医薬品採用率	50%	<p>費用の合理化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益規模に応じた予算編成を行い、地方独立行政法人の会計制度の特性を活かした効率的な予算執行を行った。 ・目標を持った徹底したコスト管理を行うとともに、運営会議や職員を対象とした運営状況の説明会を行うなど、組織全体のコスト意識の向上を図った。 ・複数年契約や複合契約等の多様な契約手法を取り入れ、ベンチマーク等の指標を活用した価格の調整等の費用の削減を図った。 ・ジェネリック医薬品の採用率を上げ、費用の節減を図った。 <p><実績数値></p> <table border="1" data-bbox="900 699 1572 1018"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常費用</td> <td>7, 053百万円</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対材料費率</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対経費率</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>医薬収益対職員給与費率(再掲)</td> <td>65.8%</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品採用率</td> <td>41.1%</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	経常費用	7, 053百万円	医薬収益対材料費率	29.0%	医薬収益対経費率	30.9%	医薬収益対職員給与費率(再掲)	65.8%	ジェネリック医薬品採用率	41.1%	3	2 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬収益に対するそれぞれの比率が費用の合理化の価値判断なのではないか。患者が少ないことで、材料費が減っただけという見方もできる。 ・費用の合理化について、マイナスの面があるのに、経費が少なかったことだけをもって評価3とすることには疑問。ジェネリックに関しても目標以下であり、コスト管理を徹底していただきたい。 ・経常費用が計画を下回っており、ジェネリック医薬品採用率も計画を達成していないことから、評価2が妥当と考える。引き続き全職員を対象とした説明会を行いコスト意識のさらなる向上に努めていただきたい。現場のことをよく知る職員からの改善意見を活用することを検討していただきたい。医薬品及び診療材料の在庫を適正に管理するとともに、共同購入などさらなるコスト削減策も検討していただきたい。 ・コスト管理は大事だが、削りすぎは医療品質の低下に直結する恐れもある。ジェネリックは患者サイドの理解も必要であると考ええる。
事 項	平成28年度計画																											
経常費用	7, 163百万円																											
医薬収益対材料費率	28.0%																											
医薬収益対経費率	31.0%																											
医薬収益対職員給与費率(再掲)	65.0%																											
ジェネリック医薬品採用率	50%																											
事 項	平成28年度実績																											
経常費用	7, 053百万円																											
医薬収益対材料費率	29.0%																											
医薬収益対経費率	30.9%																											
医薬収益対職員給与費率(再掲)	65.8%																											
ジェネリック医薬品採用率	41.1%																											
4	その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置																											
1	財政負担の原則																											

	<ul style="list-style-type: none"> ・運営費負担金等（地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第85条第1項に基づき設立団体が負担すべき経費及び同法第42条に基づき設立団体が交付できる金額をいう。以下同じ）は、「地方独立行政法人法等の施行に係る公営企業型地方独立行政法人の取扱いについて（平成16年4月1日総財公第39号総務省自治財政局公営企業課長通知）」中、「第一 設立団体が負担すべき経費等について」に定められた基準により、救急医療、災害時医療等の政策医療に係る経費及び高度医療、小児医療、周産期医療等の不採算経費に充てる。 ・長期借入金等元利償還金に充当する運営費負担金等については料金助成のための運営費負担金等とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政負担の原則のとおり不採算経費に充当した運営費負担金の額。 総 額： 898,262,000円 東金市： 673,710,000円 九十九里町：224,552,000円 ・長期借入金等元利償還金に充当した運営費負担金の額。 総 額： 256,308,559円 東金市： 201,532,639円 九十九里町： 54,775,920円 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・この評価がセンターへの評価につながるかについて、検討が必要であると考えます。 														
2	<p>地域に対する広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室の体制強化により地域連携を推進するとともに、平成28年度の医療体制に合致したパンフレットを作成し広報として情報提供を促進する。 ・ホームページ、フェイスブック、広報誌（東千葉メディカルセンターNEWS）の発行、公開講座の開催、公共施設や商業施設等を通じた情報発信等により、メディカルセンターの理念や役割、地域医療機関との役割分担をはじめとした病院運営に関する適切な情報を提供し、その普及啓発を行う。 <p><関連する数値目標></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌発行回数（再掲）</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>公開講座開催回数（再掲）</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度計画	広報誌発行回数（再掲）	2回	公開講座開催回数（再掲）	4回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室の体制強化により地域連携を推進するとともに、平成28年度の医療体制に合致したパンフレットを作成し広報として情報提供を促進した。 ・ホームページ、フェイスブック、広報誌（東千葉メディカルセンターNEWS）の発行、公開講座の開催、公共施設や商業施設等を通じた情報発信等により、メディカルセンターの理念や役割、地域医療機関との役割分担をはじめとした病院運営に関する適切な情報を提供し、その普及啓発を行った。 <p><実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌発行回数（再掲）</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>フェイスブック更新回数（再掲）</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>公開講座開催回数（再掲）</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	広報誌発行回数（再掲）	2回	フェイスブック更新回数（再掲）	25回	公開講座開催回数（再掲）	4回	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当。ホームページ等への掲示がリアルタイムとなるよう改善していただきたい。ホームページで住民の意見や要望を聞けるようにしていただきたい。 ・広報手段の多様化や頻度に加え、病院の提供している医療の具体的な内容などもより積極的に広報することで病院への理解が高まり、利用の促進につながると考える。
事 項	平成28年度計画																		
広報誌発行回数（再掲）	2回																		
公開講座開催回数（再掲）	4回																		
事 項	平成28年度実績																		
広報誌発行回数（再掲）	2回																		
フェイスブック更新回数（再掲）	25回																		
公開講座開催回数（再掲）	4回																		

			<table border="1"> <tr> <td>(平均参加者数)</td> <td>(58人)</td> </tr> <tr> <td>糖尿病教室開催回数 (再掲)</td> <td>12回</td> </tr> <tr> <td>(平均参加者数)</td> <td>(26人)</td> </tr> </table>	(平均参加者数)	(58人)	糖尿病教室開催回数 (再掲)	12回	(平均参加者数)	(26人)			
(平均参加者数)	(58人)											
糖尿病教室開催回数 (再掲)	12回											
(平均参加者数)	(26人)											
3		ボランティアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> 多様なサービス向上につながる地域のボランティアとの協働体制の構築を検討する。 センタープラザや病院敷地内のスペース等を活用し、ボランティアによるイベント等を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様なサービス向上につながる地域のボランティアとの協働体制の構築を検討した。 センタープラザや病院敷地内のスペース等を活用し、ボランティアによるイベント等を開催した。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> 地域のボランティアとの協働は、地域とのつながりや患者の利便性向上の観点から非常に重要であることから、積極的に取り組んでいただきたい。 					
			<p><実績数値></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>平成28年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丘山地区地域交流「花いっぱい」運動 (丘山振興会)</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>クリスマス ロビー・コンサート (大里合唱団)</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>	事 項	平成28年度実績	丘山地区地域交流「花いっぱい」運動 (丘山振興会)	4回	クリスマス ロビー・コンサート (大里合唱団)	1回			
事 項	平成28年度実績											
丘山地区地域交流「花いっぱい」運動 (丘山振興会)	4回											
クリスマス ロビー・コンサート (大里合唱団)	1回											

--	--	--	--	--	--

5 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画

別表 1
 予算（平成28年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
営業収益	5,706
医業収益	4,796
運営費負担金収益	898
補助金等収益	10
その他営業外収益	2
営業外収益	266
運営費負担金収益	256
その他営業外収益	10
資本収入	1,393
運営費負担金収益	300
長期借入金	1,093
その他資本収入	
その他の収入	
計	7,365
支出	
営業費用	6,074
医業費用	5,868
給与費	2,936

別表 1
 予算（平成28年度）

（単位：百万円）

区 分	予算額	決算額	差額
収入			
営業収益	5,706	5,362	▲344
医業収益	4,796	4,453	▲343
運営費負担金収益	898	898	0
補助金等収益	10	8	▲2
その他営業外収益	2	3	1
営業外収益	266	290	24
運営費負担金収益	256	256	0
その他営業外収益	10	34	24
資本収入	1,393	1,393	0
運営費負担金収益	300	300	0
長期借入金	1,093	1,093	0
その他資本収入			0
その他の収入		38	38
計	7,365	7,083	▲282
支出			
営業費用	6,074	5,878	▲196
医業費用	5,868	5,660	▲208
給与費	2,936	2,922	▲14

材料費	1,445
経費	1,485
その他医業費用	2
一般管理費	206
営業外費用	130
資本支出	1,433
建設改良費	337
償還金	1,067
その他資本支出	29
その他の支出	24
計	7,661

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。
(注3) 資金不足が見込まれるため、平成28年度上半期の経営状況を踏まえ、下半期に借入を予定している300百万円を長期借入金としている。不足額の対応等について設立団体と協議を行う。

別表2

収支計画（平成28年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入の部	6,239
営業収益	5,973
医業収益	5,063
運営費負担金収益	898
補助金等収益	10
資産見返運営費負担金戻入	
その他営業収益	2
営業外収益	266
運営費負担金収益	256
その他営業外収益	10
臨時利益	
支出の部	7,163
営業費用	7,033
医業費用	6,827

材料費	1,445	1,006	▲439
経費	1,485	1,726	241
その他医業費用	2	6	4
一般管理費	206	218	12
営業外費用	130	210	80
資本支出	1,433	1,209	▲224
建設改良費	337	119	▲218
償還金	1,067	1,067	0
その他資本支出	29	23	▲6
その他の支出	24	9	▲15
計	7,661	7,306	▲355

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。
(注3) 下半期に借入をした300百万円は長期借入金とした。

別表2

収支計画（平成28年度）

（単位：百万円）

区 分	金 額	決算額	差額
収入の部	6,239	5,875	▲364
営業収益	5,973	5,586	▲387
医業収益	5,063	4,655	▲408
運営費負担金収益	898	898	0
補助金等収益	10	8	▲2
資産見返運営費負担金戻入			
その他営業収益	2	25	23
営業外収益	266	289	23
運営費負担金収益	256	256	0
その他営業外収益	10	33	23
臨時利益			
支出の部	7,163	7,052	▲111
営業費用	7,033	6,617	▲416
医業費用	6,827	6,383	▲444
給与費	3,076	2,853	▲223

給与費	3,076
材料費	1,445
経費	1,554
減価償却費	750
その他医業費用	2
一般管理費	206
営業外費用	130
臨時損失	
純利益（▲は純損失）	▲ 924
目的積立金取崩額	
総利益（▲は総損失）	▲ 4,120

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。
(注3) 給与費・一般管理費中に賞与引当金・退職給与引当金として、合計140百万円を見込んでいる。

別表3

資金計画（平成28年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金収入	7,365
業務活動による収入	6,272
診療業務による収入	4,796
運営費負担金による収入	1,154
補助金等収入	310
その他の業務活動による収入	12
投資活動による収入	
運営費負担金による収入	
その他の投資活動による収入	
財務活動による収入	1,093
長期借入れによる収入	1,093
その他の財務活動による収入	
資金支出	7,661
業務活動による支出	6,228
給与費支出	3,142
材料費支出	1,445
その他の業務活動による支出	1,511
利息の支払額	130

材料費	1,445	1,349	▲96
経費	1,554	1,440	▲114
減価償却費	750	735	▲15
その他医業費用	2	6	4
一般管理費	206	234	28
営業外費用	130	435	305
臨時損失			
純利益（▲は純損失）	▲ 924	▲1,177	▲253
目的積立金取崩額			
総利益（▲は総損失）	▲4,120	▲4,373	▲253

(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。
(注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。
(注3) 給与費・一般管理費中に賞与引当金・退職給与引当金として、合計87百万円を含んでいる。

別表3

資金計画（平成28年度）

(単位：百万円)

区 分	金 額	決算額	差額
資金収入	7,365	7,083	▲282
業務活動による収入	6,272	5,990	▲282
診療業務による収入	4,796	4,453	▲343
運営費負担金による収入	1,154	1,154	0
補助金等収入	310	308	▲2
その他の業務活動による収入	12	75	63
投資活動による収入			0
運営費負担金による収入			0
その他の投資活動による収入			0
財務活動による収入	1,093	1,093	0
長期借入れによる収入	1,093	1,093	0
その他の財務活動による収入			0
資金支出	7,661	7,306	▲355
業務活動による支出	6,228	5,887	▲341
給与費支出	3,142	3,140	▲2
材料費支出	1,445	1,006	▲439
その他の業務活動による支出	1,511	1,611	100
利息の支払額	130	130	0
投資活動による支出	366	142	▲224

		投資活動による支出 366 有形固定資産の取得による支出 337 その他の投資活動による支出 29 財務活動による支出 1,067 長期借入金の返済による支出 567 その他の財務活動による支出 500 資金収支差額 ▲296 翌事業年度への繰越金 21	有形固定資産の取得による支出 337 119 ▲218 その他の投資活動による支出 29 23 ▲6 財務活動による支出 1,067 1,277 210 長期借入金の返済による支出 567 567 0 その他の財務活動による支出 500 710 210 資金収支差額 ▲296 ▲223 73 翌事業年度への繰越金 21 94 73				
		(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。 (注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。	(注1) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。 (注2) 期間中の診療報酬の改定、給与改定及び物価の変動は考慮していない。 (注3) 昨年度からの繰越金は317百万円であった。				
6		短期借入金の限度額					
	1	限度額					
		・500百万円	・平成28年度においては、短期借入を行っていない。				
	2	想定される短期借入金の発生事由					
		(1) 運営費負担金等の受入遅延等による資金不足への対応 (2) その他、偶発的な資金不足への対応	・平成28年度においては、短期借入を行っていない。				
7		出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産の処分に関する計画					
		・なし	・平成28年度は該当する財産の処分はない。				
8		前章に規定する財産以外の重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画					
		・なし	・平成28年度においては、重要な財産の譲渡等に関する計画はない。				
9		剰余金の使途					
		・剰余金が生じた場合は、病院規模の拡充、施設設備の整備、医療機器等の購入、長期借入金の償還、人材確保事業及び人材育成事業の充実に充てる。	・平成28年度においては、該当する剰余金がない。				
10		料金に関する事項					
	1	料金					
		省略	省略				
11		その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項					

1	<p>施設及び設備に関する計画</p> <table border="1" data-bbox="280 193 873 352"> <thead> <tr> <th data-bbox="280 193 465 272">施設及び設備の内容</th> <th data-bbox="465 193 678 272">予定額</th> <th data-bbox="678 193 873 272">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="280 272 465 352">医療機器等の購入</td> <td data-bbox="465 272 678 352">総額 400百万円</td> <td data-bbox="678 272 873 352">東金市及び九十九里町長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 金額については、見込みである。 2 各事業年度の東金市及び九十九里町長期借入金等の具体的な額については、各事業年度の予算編成過程において決定される。 3 医療機器等の選定にあたっては、費用対効果、地域住民の医療需要、償還等の負担を十分に考慮した上で行う。 	施設及び設備の内容	予定額	財源	医療機器等の購入	総額 400百万円	東金市及び九十九里町長期借入金等	<p>・医療機器等の購入費として総額102百万円を借入した。</p> <p>財源：東金市及び九十九里町長期借入金</p>		
施設及び設備の内容	予定額	財源								
医療機器等の購入	総額 400百万円	東金市及び九十九里町長期借入金等								
2	<p>積立金の処分に関する計画</p> <p>・なし</p>	<p>・平成28年度においては、積立金の処分に関する計画はない。</p>								

